

# 市職労退職者の会

だより  
No.54号  
2020. 10. 15

画を立てます。  
まずは「低山登り」や  
「小旅クラブ」の活動  
から再開して行きたい  
と考えています。

皆さん、コロナ感染予防で自  
粛生活が長く続いていきます。心身  
共に少しずつ疲れが溜まっていま  
せんか？

市職労退職者の会の活動も2月末から休止  
状態が続いています。退職者の会では三役会  
議等を開きコロナ感染状況の推移なども検討  
した結果、少しずつ活動を再開する方向で企

山好き同好会の企画

## 秋の「高良山」に登ろう

今、東北の高い山々は、赤・黄・緑に彩られ  
た虹色の世界が広がっています。10月初めに  
青森県の八甲田山と秋田県の岩手山に登り、  
麓に広がる広大な湿原を歩きました（Y）。  
「山好き同好会」では、5月に予定していま



10月5日に八甲田山に登り、裾野の広大な湿原  
歩きと紅葉を楽しみました。

した久留米市にある「高良山」  
(312m)に登ります。高良  
大社に続く古い石畳を歩きま  
すが、九州オルレのコースに  
も選ばれている気持ちの良い  
山道でゆっくり歩きます。  
**日時 10月24日(土)**  
**集合 JR久留米大学前駅**  
**10時00分集合**  
**準備 登山シューズ、弁当・**  
**水筒・手袋・ストック**  
**\*雨天の場合は前日夕方には**  
**連絡します。(登録者のみ)**  
**\*事前に参加予約をしてね!**

〈山好き同好会〉

日時 11月14日(土) 9時半  
場所 JR福吉駅前集合  
十坊山(639m) 糸島市  
往復4時間半を予定  
日時 12月19日(土) 9時半  
場所 JR福岡教育大学前駅  
城山(369m)  
往復3時間半

\*ちよつと行ってきます\*

## 筑豊の中心「直方」から若松へ

江戸時代は長崎街道に沿って城下町が形成  
され黒田長政の四男(黒田高政)が福岡藩か  
ら分封されて東蓮寺藩を起し、後に直方藩  
と改称された。明治から昭和30年代まで筑豊  
の各地から石炭を列車で若松まで運搬するた  
めの中継地として直方機関区が置かれ大きく  
栄えた。当時の栄えた時代を偲ばせる建物や  
旧商店などが多く見られます。

日時 11月20日(金) 9時02分発

日 JR吉塚駅は05発(直方行き)

旅先 直方→若松を散策

交通費 博多→直方(950円)

直方→若松(570円)

若松→博多(1650円)

18時帰着予定

(合計 3,170円)

申込先 市職労書記局 711-4940又は

役員(横多) 090-1346-7117

※切り 11月16日(月)まで

注意 コロナ対策でマスク着用厳守

## コロナ危機で広がる貧困

### 嘘と詭弁と公文書改ざんがなぜ？

突然の安倍首相辞任でしたが、新たに誕生した菅内閣は、国民の間に新型コロナウイルス感染症による生活不安が広がっている中にも、就任早々から国民に「自助・共助・公助」を掲げて安倍政権の政策を引き継ぐと表明しました。

菅総理は、早くも日本学術会議委員任命で意に沿わない学者を排除するため名簿改ざんという法律違反（学術会議法）を公然と行うなど強権姿勢を露わにしています。しかも、批判が強まると突如「補助金10億円を出しているのに10年間も答申がない、前例踏襲を見直して行革対称にする」と言いだし、関係の無い問題を持ち出して争点のすり替えを図り国民の批判を逸らそうとしていることです。

### 権力監視の精神を無くした報道

しかし、「政府から諮問がされないのに答申を出せないのは当然だ！ 10億円の半分以上は職員人件費で役員手当は僅かに年間7000万円程度で、210人の会員の会議出席のための交通費は年度末には不足して手弁当で会議に出席している」などの反論があり応答も出来なくなっています。実際には学術会議からは、専門家の立場から多くの課題で政府に対して様々な政策提言を行っているのです。

こうした政府の発表を検証もせずに、デマや嘘の情報やテレビ番組などで専門家（？）が平然と語っていることです。菅総理のマスコミ会見は内閣記者クラブで数社に限定して質問を受け、他の記者は別室で映像もなくマイクから流れる声だけを聞かされるという異常さに外国人記者からは他国では考えられないと批判される始末です。

### 生活支援費の申請が43万件にも

新型コロナウイルス感染拡大の影響で倒産・廃業が増え、コロナ関連失業が6万人以上にのぼり『半失業』状態にある人を加えると20万人余とも言われ

ています。月額20万円を3ヶ月間借りられる生活支援費の申請件数は3月から9月末までに43万件を超え、現在までに貸し付けが決まったのは約41万件（約3000億円）に達し、今後さらに増加が予想されています。

コロナ危機への対応では国民の間に差別と分断も広がっていると指摘されています。コロナ禍で生活に困窮する非正規労働者、外国人技能実習生、母子家庭や障害者の人たちなど弱い立場の人たちに大きなしわ寄せが行っています。

政府の対応は、まるで「自己責任」を問うかのようになり各種政策も遅々として進まないのが現状で、これから年末に向けて企業倒産がさらに広がり、失業する人たちも増加することが予想されています。

### 日本学術会議から国民への訴え

世界の多くの科学者が今回の世界的規模における感染症爆発（パンデミック）の背景には、地球規模における環境破壊があると指摘しています。日本学術会議は会長声明として、『現状の道を進めば、2050年前後には地球温暖化が産業革命以前に比べて1.5℃を超え、気象・水災害がさらに増加し、生態系の損失が進み、私たちの生活、健康や安全が脅かされます。これを避けるには、世界のCO2排出量を今すぐ減らしはじめ、今世紀半ばまでに実質ゼロにする道に大きく舵を切る必要があります。しかし、私たちに、ただ「我慢や負担」をするのではなく、エネルギー、交通、都市、農業などの経済と社会のシステムを変えることで、豊かになりながらこれを実現する道が、まだ残されています。世界でそのための取組は始まっていますが、わが国を含め世界の現状はスピードが遅すぎます。少しでも多くの皆さんが、生産、消費、投資、分配といった経済行為における選択を通じて、そして積極的な発言と行動を通して、変化を加速してください。我々科学者も国民の皆さまと強く協働していく覚悟です。』と訴えています。

## 地球からの警告メッセージ

日本でも世界でも、毎年のように「50年、100年に一度」と言われる大規模自然災害が多発し、台風（ハリケーン）も森林火災も水害も巨大化して甚大な被害が生じています。

今回の新型コロナウイルスによるパンデミック（世界的感染症拡大）は、人類に突きつけられたガイア（地球生命体）からの警告メッセージの感じられます。この後、50年後・100年後生きる子や孫たちの安全で健康が守られる暮らしが続くかどうかは、その政策選択に掛かっていると述べています。

### 《第12回退職者の会総会の中止と

#### 役員任期の延長について》

市職労退職者の会役員会は、来年一月に予定しています「第12回総会の開催」を中止して文書による報告とします。また、次期総会では役員改選の予定でしたが、この状況下では改選が難しいと判断し、現役員の任期を一年間延長することとしました。尚、健康上の都合で一名の方については延長しないことを確認しました。

経過報告および次期方針は12月に発行予定の「だより55号」で報告・提案します。ご意見、要望等は組合書記局又は役員・事務局までお寄せください。

市職労書記局 092-711-4940  
事務局 090-1346-7117 横多